

令和7年度“うつくしま、ふくしま。”環境顕彰受賞者一覧

No.	区分	管内	個人・団体名	顕彰理由	写真
1	団体	県北	やはなふじんぶ 八幡婦人部 (婦人会長 宮本 美代)	町内の道路や集会所・神社周辺の除草、雑木の剪定、清掃及び花苗の植栽による美化・緑化活動を行っているほか、生ごみの肥料化や缶・瓶、段ボール等の回収によるごみの再資源化を図っている。 活動内容は普遍的ながらも活動期間は長年に及んでおり、集団資源回収助成金の活用による町内各家庭へのごみ袋配付や町内で敬老会を開催する等の高齢者福祉活動も行うなど、町内の環境保全の意識向上に寄与している。	
2	団体	会津	たてわきだんちちやうないかい 館脇団地町内会 (区長 岩田 善一)	地区内の緑地において、花壇の掘り起こし、落葉集め、除草作業から始まり、花苗を植え、輪番制で水やりや除草を行っている。 また、館脇町会館において、電気製品のプラグを抜くなどの節電や、使用頻度が低いガスボンベの廃止、白熱電球からLED照明への切替えなど、省エネルギー活動にも取り組んでおり、長年にわたる地域住民が協力しながらの継続的な活動は、環境保全推進への貢献度が高く模範的である。	
3	団体	県北	ふくしま かぶしきかいしゃ 福島キヤノン株式会社 (代表取締役社長 相馬 克良)	福島市やその周辺市町の小学校や学習センター等において、地球環境問題をテーマにした授業や実験を通して子どもたちの環境に対する理解を深める環境出前授業（エコスクール）や、自然をテーマとした写真撮影の体験を通して、環境に対する意識を高めることを目的にした写真教室を開催している。 また、社員や家族が荒川クリーンアップ大作戦に参加し、清掃活動を行っているほか、福島市小鳥の森内の棚田の再生にも協力するなど、長年にわたる様々な活動を実施しており、県の環境保全に対する功績は大きい。	
4	団体	会津	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議 (理事長 藤田 豊)	「猪苗代湖の清らかな水環境を守る」との理念に基づき、猪苗代湖の水質復活を唱え、秋期に猪苗代湖の湖岸に漂着する水草の回収活動を平成27年の設立時から継続して実施し、これまでに延べ21,980人が参加し、累計2,525㎡の水草を回収している。 また、猪苗代湖とその周辺の自然環境、歴史及び文化を「猪苗代湖学」としてまとめ、青少年に対する環境学習の支援を行うとともに、令和6年度は県内の小中高生だけでなく、県外の高校に対しても猪苗代湖をフィールドに学習を行うなど、県の環境保全に対する功績は大きい。	